

2010年12月22日

各位

わかもと製薬株式会社

眼科手術補助剤

「マキュエイド®硝子体内注用 40mg」新発売のご案内

わかもと製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石井敬志、資本金:34億円)は、12月24日(金)に硝子体手術時に使用する、新しい眼科手術補助剤「マキュエイド®硝子体内注用 40mg」(一般名:トリアムシノロンアセトニド、以下マキュエイド)を発売いたします。

マキュエイドは、硝子体手術時における硝子体可視化剤として日本で初めて認められた眼科手術補助剤です。有効成分であるトリアムシノロンアセトニドはプレドニゾロンの誘導体のひとつで合成副腎皮質ホルモンであり、筋肉内注射用、関節腔内注射用などの製剤として1961年から医薬品として用いられています。眼科領域では、可視化剤としての適応はありませんでしたが硝子体手術時の可視化目的で使用されており、有用性が高く評価されています。

マキュエイドは、種々の製剤検討を行い、眼組織への影響を避けるため添加剤を含まない眼科用製剤として開発を目指し、2010年10月27日に『硝子体手術時の硝子体可視化』の効能・効果で製造販売承認されました。

また、市場規模は、ピーク時(2年後)、患者数6万人、販売額5億円(薬価ベース)を予測しています。

《マキュエイドの概要》



製品名	マキュエイド®硝子体内注用 40mg
一般名	トリアムシロンアセトニド
効能・効果	硝子体手術時の硝子体可視化
用法・用量	通常、本剤 1 バイアルに 4mL の生理食塩水又は眼灌流液を注入してトリアムシロンアセトニド濃度が 10mg/mL になるように用時懸濁し、トリアムシロンアセトニドとして 0.5～4mg (懸濁液として 0.05～0.4mL) を硝子体内に注入する。 なお、懸濁液のトリアムシロンアセトニド濃度は、術式、患者の状態等に応じて適宜増減できるが、40mg/mL を超えないこと。
製造販売承認日	2010 年 10 月 27 日
薬価基準収載日	2010 年 12 月 10 日
薬価	マキュエイド®硝子体内注用 40mg 8,066 円
発売開始日	2010 年 12 月 24 日
製造販売	わかもと製薬株式会社
問合せ先	医薬学術部 TEL 03-3279-0379

以上